

アザミウマ科の検索

アザミウマ類の多くは体長 1～2mm の微小昆虫であり、国内では 4 科約 200 種が報告されている。ここでは、農作物等に見られるアザミウマ類の中から主要なアザミウマ科 15 属 24 種について検索表を紹介する。

防除対策では、種の同定が重要となるが、アザミウマ類は非常に小さく、一般的に同定が難しいことから、プレパラート標本に基づく正確な同定法を身に付けておくことが必要である。

(参考文献)

梅谷献二・工藤 巖・宮崎昌久編. 1988. 農作物のアザミウマ. 全国農村教育協会, 東京, 422pp

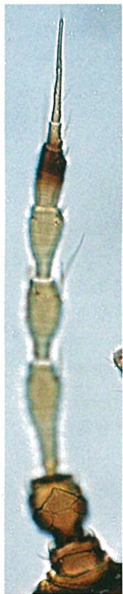


図 1

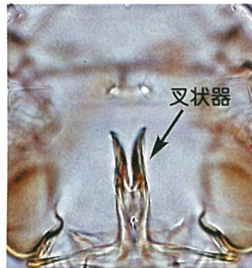


図 2

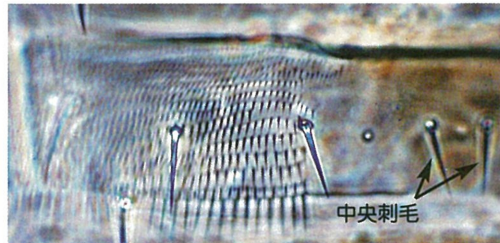


図 4



図 5

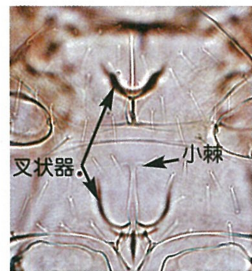


図 3

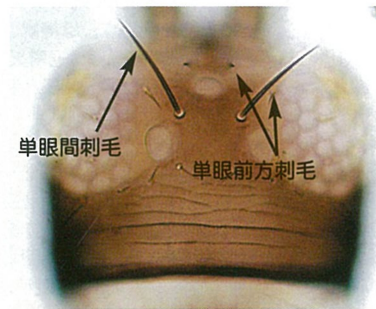


図 6

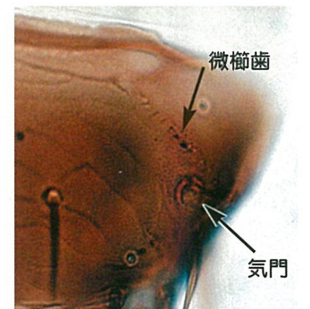


図 7

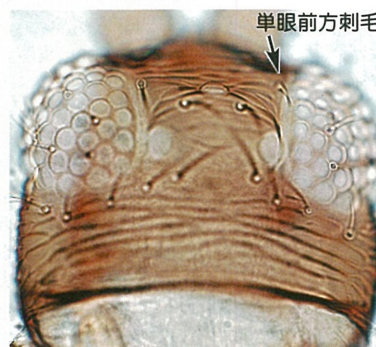


図 8

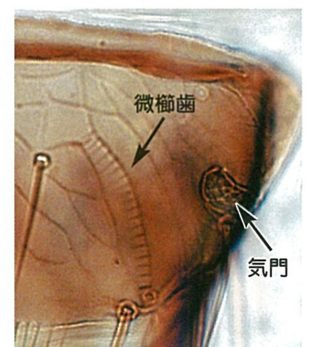


図 9

(図の説明)

- 図 1 クロトンアザミウマ触角
- 図 2 クワアザミウマ中胸・後胸腹
- 図 3 チャノキイロアザミウマ中胸・後胸腹板
- 図 4 チャノキイロアザミウマ背板
- 図 5 トラフアザミウマ前胸背板
- 図 6 ヒラズハナアザミウマ頭部
- 図 7 カホンカハナアザミウマ第 8 背板
- 図 8 ネギアザミウマ頭部
- 図 9 ネギアザミウマ第 8 背板

検索表で扱うアザミウマ

学 名	和 名	主な寄主等	学 名	和 名	主な寄主等
<i>Anaphothrips obscurus</i>	クサキイロアザミウマ	イネ科	<i>Pseudodendrothrips mori</i>	クワアザミウマ	クワ
<i>Chirothrips manicatus</i>	ヒゲフトアザミウマ	イネ科	<i>Scirtothrips dorsalis</i>	チャノキイロアザミウマ	広食性
<i>Echinothrips americanus</i>	モトシロアザミウマ	シソ・インゲン等	<i>Scolothrips takahashii</i>	ハダニアザミウマ	ハダニ類
<i>Frankliniella intonsa</i>	ヒラズハナアザミウマ	広食性	<i>Stenchaetothrips biformis</i>	イネアザミウマ	イネ科
<i>F. occidentalis</i>	ミカンキイロアザミウマ	広食性	<i>Thrips coloratus</i>	ビワハナアザミウマ	広食性
<i>F. tenuicornis</i>	カホンカハナアザミウマ	イネ科	<i>T. flavus</i>	キイロハナアザミウマ	広食性
<i>Heliothrips haemorrhoidalis</i>	クロトンアザミウマ	広食性	<i>T. hawaiiensis</i>	ハナアザミウマ	広食性
<i>Hercinothrips femoralis</i>	クリバネアザミウマ	広食性	<i>T. nigropilosus</i>	クロゲハナアザミウマ	キク科
<i>Megalurothrips distalis</i>	マメハナアザミウマ	マメ科	<i>T. palmi</i>	ミナミキイロアザミウマ	広食性
<i>Microcephalothrips abdominalis</i>	コスモスアザミウマ	キク科	<i>T. setosus</i>	ダイズウスイロアザミウマ	広食性
<i>Mycterothrips glycines</i>	ダイズアザミウマ	マメ科	<i>T. simplex</i>	グラジオラスアザミウマ	グラジオラス
<i>Neohydatothrips samayunkur</i>	トラフアザミウマ	マリーゴールド	<i>T. tabaci</i>	ネギアザミウマ	広食性

アザミウマ科の主要な種への検索表

1. 体表面は強く網目状に彫刻される。前翅の前脈は前縁脈に癒合する。触角の先端節は針状に細くなる (図 1)。	2
- 体表面は通常、強く網目状に彫刻されることはない。頭部、前胸背板が網目状に彫刻されても腹部は網目状に彫刻されず、前翅の前脈は前縁脈に癒合しない。触角の先端節は針状にならない。	3
2(1) 一様に暗褐色、脚はすべて黄色、前翅は淡色。前翅の刺毛は微小。	クロトンアザミウマ
- 頭部は単眼三角域の両脇に黄色の縦帯があり、前翅は亜先端部、亜基部が淡色。前翅の刺毛は発達し、前脈後脈共に刺毛列は完全。	クリバネアザミウマ
3(1) 後胸叉状器は発達し中胸に達する (図 2)。後脚ふ節は前・中脚ふ節に比べ発達し脛節の 0.6 倍以上の長さ。	クワアザミウマ
- 後胸叉状器は中胸に達しない (図 3)。後脚ふ節は前・中脚ふ節とほぼ同長で脛節の半分より短い。	4
4(3) 頭部及び前胸背板は強く網目状に彫刻され、その内側に小さなしわ状の線を備える。前翅前脈、前縁脈の刺毛先端は柱頭状に膨らみ、前胸背板は後縁部に 2 対の同様の長刺毛を持つ。腹部背板の両側は横条刻線に沿って多数の微刺列を備え、中央刺毛は互いの間隔よりも明らかに長い。触角第 2 節背面先端の 2 本の刺毛の先端は尖らず、やや広がる。	モトジロアザミウマ
- 上記の組み合わせではない。	5
5(4) 腹部背板の両側は横条刻線に沿って多数の微刺列を備え、腹部背板の中央刺毛は互いの間隔よりも長い (図 4)。中胸及び後胸叉状器は小棘を持つ (図 3)。	6
- 腹部背板の両側は、通常、微刺列を欠く。微刺列を備えても腹部背板の中央刺毛は互いの間隔よりも明らかに短い。後胸叉状器は、通常、小棘を欠く。	7
6(5) 前翅は 2 本の褐色のバンドを持ち、前脈の刺毛列は完全。前胸背板は横長の網目状に彫刻され、中央後半部の四角く区画された内側は周囲と異なって彫刻される (図 5)。	トラファザミウマ
- 前翅は一様に灰色で、前脈の刺毛列は途中で途切れ、先端 2/3 は 3 本の刺毛を持つ。前胸背板は間隔の狭い横条刻線に覆われ網目状とはならず、中央後半部は上記のように区画されない。	チャノキイロアザミウマ
7(5) 前胸背板は台形。触角第 2 節は外側に突出し、第 3・4 節の感覚鍾は棒状。	ヒゲブトアザミウマ
- 前胸背板は樽型。触角第 2 節は外側に突出せず、第 3・4 節の感覚鍾は通常叉状。	8
8(7) 前胸背板は 6 対の非常に長い刺毛を持つ。一様に白色、前翅は亜先端部と亜基部に褐色のバンドを持つ。	ハダニアザミウマ
- 前胸背板は多くても 5 対の長刺毛を持つ。他の特徴は様々。	9
9(8) 前胸背板は長刺毛を欠く。触角は 9 節。	クサキイロアザミウマ
- 前胸背板は長刺毛を持つ。触角は 7～8 節。	10
10(9) 前胸背板は前縁に 4 本の長刺毛を持つ。単眼前方刺毛は 2 対 (図 6)。前翅前脈の刺毛列は完全。腹部第 5～8 背板は両脇に 1 対の微歯を持ち、第 8 背板では微歯は気門の前側方に位置する (図 7)。	11
- 前胸背板は前縁に長刺毛を欠く。単眼前方刺毛は 1～2 対。前翅前脈の刺毛列は途中で途切れる。腹部背板に微歯を持つ場合は、第 8 背板では気門の後側方に位置し (図 9)、単眼前方刺毛は 1 対 (図 8)。背板に微歯を欠く場合でも、時々第 8 背板の気門前側方に不規則な微刺の一群を持つ。	13
11(10) 頭部は前方に明瞭に突出する。腹部第 8 背板後縁の歯状突起は不規則で中央部ではしばしば弱い。	カホンカハナアザミウマ
- 頭部は前方に突出しない。腹部第 8 背板後縁の歯状突起は規則的で完全。	12
12(11) 複眼後方第 4 刺毛は他の刺毛より長く、単眼間刺毛よりもやや短い程度。後胸背板は鐘状感覚器を持つ。	ミカンキイロアザミウマ
- 複眼後方第 4 刺毛は他の刺毛とほぼ同長で、単眼間刺毛よりも明らかに短い。後胸背板は鐘状感覚器を欠く。	ヒラスハナアザミウマ
13(10) 腹部背板は微歯を欠く。	14
- 腹部背板は両脇に 1 対の微歯を持つ。	15
14(13) 後胸叉状器は小棘を持つ。前翅前脈の刺毛列は中央部で大きく途切れ、先端部に 2 本の刺毛を持つ。腹部背板は両側に刻線に沿って微刺列を備える。第 8 背板後縁の歯状突起は途切れることなく完全。	ダイズアザミウマ
- 後胸叉状器は小棘を欠く。前翅前脈の刺毛列は先端付近で小さく途切れ、先端部に 2 本の刺毛を持つ。腹部背板は微刺列を欠く。第 8 背板は気門前側方に不規則な微刺の一群を持つ、後縁の歯状突起は中央部で途切れる。	マメハナアザミウマ
15(13) 前胸腹板は数本の微小な刺毛を持つ。腹部背板後縁は鋸歯状の大きな板状突起を持つ。	コスモスアザミウマ
- 前胸腹板は刺毛を欠く。腹部背板後縁は上記のような板状突起を欠く。	16
16(15) 単眼前方刺毛は単眼間刺毛よりも明らかに長い。腹部背板後縁はしばしば不規則な小さい鋸歯状突起を持つ。	イネアザミウマ
- 単眼前方刺毛は単眼間刺毛よりも短い。腹部背板後縁は鋸歯状突起を欠く。	17
17(16) 腹部腹板は副刺毛を持つ。	18
- 腹部腹板は副刺毛を欠く。	20
18(17) 前翅前脈は先端半分に 6～9 本の刺毛を持つ。後胸背板は縦長の網目状をなし、その内側は小さいしわ状の線を備える。腹部側背板は刻線に沿って多数の微刺列を備える。	グラジオラスアザミウマ
- 前翅前脈は先端半分に 3 本の刺毛を持つ。後胸背板は縦線状。腹部側背板は微刺列を欠く。	19
19(18) 後胸背板の中央刺毛は前縁に位置する。腹部背板は一様に褐色～暗褐色。触角は 7～8 節。	ハナアザミウマ
- 後胸背板の中央刺毛は前縁よりも後方に位置する。腹部背板は中央部が褐色～暗褐色で一様ではない。触角は 7 節。	ビワハナアザミウマ
20(17) 腹部側背板は刻線に沿って多数の微刺列を備える。前翅前脈の先端部刺毛は通常 4 (まれに 3, または 5) 本。	ネギアザミウマ
- 腹部側背板は上記のような微刺を欠く。前翅前脈の先端部刺毛は 3 本。	21
21(20) 腹部側背板は副刺毛を持つ。	ダイズウスイロアザミウマ
- 腹部側背板は副刺毛を欠く。	22
22(21) 腹部第 2 背板の側縁刺毛 3 本、第 9 背板の鐘状感覚器は 1 対。	クロゲハナアザミウマ
- 腹部第 2 背板の側縁刺毛は 4 本、第 9 背板の鐘状感覚器は 2 対。	23
23(22) 単眼間刺毛は前方単眼の直後に位置する。後胸背板の刻紋は、中央部でしばしば互いに交わり不規則な縦長の網目をなすことがある、また、真っ直ぐ後縁に達する。	キイロハナアザミウマ
- 単眼間刺毛は前方単眼の側方に位置する。後胸背板の刻紋は、中央部でほとんど互いに交わらず、後縁では中央に向かって曲がる。	ミナミキイロアザミウマ